学校番号	１０１０

平成 31 年度　公民科

教科	公民	科目	現代社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「現代社会」　（東京書籍）						
副教材等	「地歴高等地図」　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会を生きる私たちには単に社会の中で生きるのではなく、自分たちの手で社会をつくっていかなければなりません。そのためには現在の社会がどのような問題を抱えているかを知らなければなりません。自分の身の回りのことに興味・関心を持ち、積極的に社会とかかわるための知識を身につけましょう。そして単にしくみや制度を考えるだけでなく、よりよく私たちが生きていくにはどうしたらよいか考える力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

・人権の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立って現代の社会と人間について理解を深める。
・現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する。
・人間の在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代社会の問題に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、良識ある公民としての必要な能力と態度を育てる。	現代社会の問題について主体的に考察し、公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代社会の諸課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	人間の在り方生き方について考察する基礎を養い、人権の尊重と探求の精神に基づいて広い視野に立って現代の社会と人間について理解を求める。
評価方法	ワークシート 振り返りシート	定期考査 ワークシート グループワークなどでの発表内容	定期考査 レポート ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	わたしたちの生きる社会	・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 ・科学技術の発達と生命 ・情報化の進展と生活	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ 	○ ○ ○	a:設定された主題について、興味を持って調べることができている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して図表などにまとめたりしている。 d:幸福、正義、公正な視点について理解し、その知識をみにつけている。	ワークシート
		・現代社会と自己形成の課題 ・よりよく生きることを求めて	○ 	 ○	○ 	○ ○	a:客観的に青年期の自己形成について知ろうとし、身近な事例と結びつけることができている。 b:過去の思想家たちの考えを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:青年として自己が社会とどのようなつながりがあるか理解し、よりよく生きるためにこれまでどのような考えが展開されてきたかの知識を身につけている。	定期考査 ワークシート

		・民主政治とは ・日本国憲法の基本原理 ・日本の政治機構 ・現代社会の特質と課題	○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a:民主政治の原理を理解したうえで、現代政治の課題に対して関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:日本の現代政治の特質を他国のものと比較し、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:地方自治や選挙について必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:民主政治や日本国憲法の基本原理、日本の政治のしくみを理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート レポート
		・現代社会と法	○	○	○	○	a:司法と社会生活のかかわりに対する関心を高め、意欲的に追及しようとしている。 b:司法と人権について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:司法制度のや司法の課題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:基本的人権の保障や法の支配の実現がなぜ必要か、また現代の司法制度について理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート

後期		・経済のしくみ ・変化する日本経済 ・豊かな生活の実現	 ○ ○	 ○	 ○ ○	○	a:経済活動と豊かな生活の実現に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: ひとりの社会人として働き方、安心できる社会保障のありかたなど豊かな社会生活について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:経済生活と豊かな社会のバランスに関して諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:個人・企業・政府の経済活動の目的について理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート
		・国際政治のしくみと動向 ・国際経済のしくみと動向 ・国際社会の現状と課題	○ ○ 	 ○	 ○	○ ○	a:国際社会と日本のかかわりに対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b: 今後、経済的な不平等の解消、平和や安全を保障するためには国際社会はどうあればよいいか、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:現代社会でおきている様々な国際問題に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読みとったり図表などにまとめたりしている。 d:国際社会の特質を理解し、その知識を身につける。	定期考査 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。